

大雪山国立公園内スノーモビル等の乗入れ規制調整会議(令和元年度)議事概要

1. 日時 令和元年 12 月 16 日(月)11:00～12:00
2. 場所 東川町農村環境改善センターホール
3. 議事概要

(1)平成 20 年度以降のスノーモビル監視活動の総括と今後の方針について

○環境省上川自然保護官事務所から、資料 1 に沿って説明した。

環境省予算の削減があり、平成 29 年度まで毎年業務請負で行っていた監視活動業務及びセスナ機による監視飛行業務が終了したため、昨年度は平成 20 年度以降の監視活動の総括及び今後の活動について整理を行った。

○総括としては、平成 26 年度以降、監視活動で確認されたスノーモビルの乗り入れは減少傾向にあると考えられること、スノーモビルが実際に乗入れ規制区域に到達しているか把握するのが困難な状況にあること(乗入れ規制区域が除雪終点地点よりもはるか奥にあるため)、監視活動による一定の侵入防止効果はあったが、一部地域においてスノーモビルの乗入れ規制区域へ至ろうとする事例が依然としてあることが挙げられる。

○今後の方針としては、普及啓発による未然防止に重点を置き、乗入れ情報の把握を行う。監視活動は実施しないと乗入れが増える可能性があるため、効率的に実施し、個々の利用者に監視活動を行っていることを知ってもらうことが必要。

(2)平成 30 年度シーズンにおけるスノーモビル等乗入れ規制対策実施結果について

○環境省上川自然保護官事務所から、資料 2～4 に沿って説明した。

○監視カメラに撮影されたモビルの台数は、東川町幌倉沼、美瑛町字俵真布、南富良野町東幾寅、新得町北新内線入口で昨年度に比べ増えている。監視活動業務がなくなった影響か、この年だけ新しい要因があるのかはわからない。継続して規制の周知を行い、注視して状況を確認していく必要がある。

(3)令和元年度シーズンの対策について

○環境省上川自然保護官事務所から、資料 5～7 について説明した。

○重点活動日のうち北見峠・旭川東旭川(ペーパングダム)については、例年 1 月に実施していたが、今シーズンは降雪が遅いためスノーモビルの乗入れ時期が後ろ倒しになると考えられることから、昨年度に引き続き今年度も 2 月としたことを説明。

○令和元年度の対策について、資料のとおり進めることで出席者から異議無く了承された。

(4)その他

(層雲峡ビジターセンター)

○センサーカメラの台数の増減や位置の変更はあるのか。

→(環境省上川自然保護官事務所) 乗り入れ状況に応じて数や位置は変更している。

(環境省上川自然保護官事務所)

○各機関、団体の取組や、近年のスノーモビル利用の動向について情報があれば教えていただきたい。

(上川総合振興局 環境生活課)

○十勝岳エリアでの調査はしていないのか。

→(環境省東川自然保護官事務所) 乗入れ情報がないので調査を行っていない。

(旭岳ビジターセンター)

○一般の利用者が、乗入れ規制区域を知るにはどのような方法があるのか。

→(環境省上川自然保護官事務所) 監視活動にて、利用者に規制区域の地図を配布している。そのほか、販売店へ地図の配布、HP等に地図を掲載している。

(層雲峡ビジターセンター)

○ニセイカウシュッペ山周辺に向かって、(北見峠や中越地区以外の) 色々な林道から入っている様子で、道路の除雪にも影響が出ているのではないかと。地元の方から乗入れの情報を入手できればよい。

(日本スノーモビル安全普及協会 事務局)

○乗入れ規制については、HP掲載など周知について協力している。

○現在は、中古車販売も多くなってきており、インターネットを通じての転売も見られる。協会は、新車を扱う会社が加入しているため、主に中古車を販売している未加盟販売店についての状況を把握しにくいことが課題である。

(東川山岳会)

○別宅がある光和地区に日曜日には20台ほどのスノーモビルが見られる。周辺の田畑や白川美唄線(道道1160 富良野上川線)を走行しており、愛山溪などの乗入れ規制の区域に到達するには時間と技術が必要でありここからは行っていないようだ。

(上川町)

○町内にはスノーモビルを持っている人は多い、規制区域を知っていて乗入れしてい

るのか、知らずに入ってしまったのか、悪質かどうか判断が難しい。

→(環境省上川自然保護官事務所)監視活動の中で行き会うスノーモビルの利用者は、規制区域を知っている人が多い印象。監視活動では悪質かどうかまでは判断できないため、行き会った場合は、地図を渡して、行った場所を自分で指し示してもらうなどして乗り入れ状況や事情を確認するようにしているところ。

(旭川市)

○合同パトロールに参加させていただいている。スノーモビルの利用者は、個人、団体のどちらが多いか。

→(環境省上川自然保護官事務所)個人よりも団体の方が多い印象である。仲間を募ったうでグループを組み、走行しているかもしれない。

○乗入れ規制を知らない人にどのように伝えるか、広報が大事だと考える。

→(環境省上川自然保護官事務所)様々な広報手段を使って普及啓発を行いたい。

(上川南部森林管理署)

○十勝岳方面でスノーモビルの乗入れの情報はない。国有林内は事業がなければ除雪は行わず、トレースがあれば目立つため、巡視等で確認できれば情報共有したい。

(上川中部森林管理署)

○通常業務の中で監視活動を行っている。上川町中越地区の駐車場にて牽引車のトレーラーが停車しているのを見かけることがある。

(北海道警察 旭川方面本部)

○事件となれば、場所の特定等、現地での確認が必要になってくるため、皆さんに協力をお願いしたい。

(上川総合振興局南部森林室)

○道有林でも調査業務等でスノーモビルが入ることはあるが、一般の利用者が乗入れている情報は把握していない。

(上川総合振興局 環境生活課)

○道立自然公園でもスノーモビル乗入れの情報があれば共有したい。